

監督会議資料(県体)

令和4年5月21日(土)

時間: 8:20~

場所: 大会議室

1. 選手変更及びミスプリントについて

2. 競技規則について

- (1) ルールは、現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) 試合前の練習は1分間とする。
- (3) 接着剤の使用は、所定のラバー貼替所(1Fの体育館南入口)でのみ許可する。
- (4) 学校対抗戦ならびに個人戦ダブルスにおいては、ユニフォームを統一すること。
- (5) タイムアウトは全試合適用する。
- (6) アドバイザー(別紙)については、要項に記載している規定を遵守すること。
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し、特別ルールを適用する。
以下の点について、生徒へ連絡をする。
 - ・応援は拍手のみとする(観客席含む)・選手も大声を出さない。
 - ・ラケット交換は見せ合う形で行う。・試合後の握手はしない。礼のみとする。
 - ・卓球台の上で手を拭くことはしない。(6ポイント以外に遅延行為にならない範囲でのタオルの使用を認める)・シューズの裏で手を拭くことはしない。
 - ・競技者以外はマスクを着用する。また、設置されているアルコール消毒液でこまめに手指消毒をするよう心掛ける。

3. 競技の進行について

- (1) 21日(土)学校対抗予選リーグ → 決勝トーナメント → 学校対抗決勝まで
※ただし、ダブルスは11:00頃より試合可能などころから入れていく。決勝トーナメントと並行して入れていく場合もある。(ダブルス最終コール15:00予定、ベスト4を目標)
※試合の進行が遅れている状況の場合、予備コート(サブアリーナ)で試合を進める場合もある。
22日(日)ダブルス・シングルス決勝まで
- (2) 学校対抗戦は2コートを使用する。
- (3) 試合は全て3点先取とする。
- (4) オーダー用紙の提出について
決勝戦のみ本部席へオーダー用紙を提出する。
- (5) 22日(日)の朝は、競技に先立って学校対抗の部の表彰を行う(8時50分)。

4. 審判について

- (1) 学校対抗の部
相互審判で行う。ただし、決勝戦は外部審判員が行う。
- (2) 個人戦の部
 - ①各コートの第1試合は、相互審判で行い、その後は敗者審判とする。
 - ②勝者は、試合結果を進行席へ報告し、敗者はコートに残って次の試合の審判を行う。
 - ③Dは準決勝から、Sは準々決勝から外部審判員が行う。ただし、敗者は副審をする。

5. その他

- (1) 練習について ●5/21(土)・5/22(日) 8:00~8:25(前半)

土佐女・土佐・学芸・高知・土佐塾・追手前・丸の内・小津・西・国際
高知工・高知農・東工・高知商・東

- 5/21(土)・5/22(日) 8:25~8:50(後半)

明德・高専・室戸・安芸・城山・伊野商・岡豊・佐川・須崎総・中村
清水・西土佐・桜ヶ丘・宿毛・宿毛工・幡多農

※各校譲り合って使用すること。(クロス練習可)

※練習については、監督、外部アドバイザー、エントリー選手に限る

※サブアリーナの使用も可能とする。割り当て時間を守りコロナ対策を講じて使用すること。(前半・後半)また、開始式後は練習会場として開放する。(5/21は17時、5/22は15時までとする)ただし、進行の遅れ等で試合が入る場合もある。※試合を優先とする

- (2) 試合進行に協力すること。
- ①試合前の練習1分 ②ベンチコーチ1分 ③コール後5分以内に試合開始
④試合後速やかに勝者は本部へ結果報告 ※次の試合の選手はアップスペースで待機
- (3) 開始式(21日8時55分)は、放送により行う。選手は練習後フロアに座り、マスクを着用して参加すること。(観客席にいる生徒についてもマスク着用、1席以上空けて参加すること)
- (4) 貴重品の管理、ゴミの処理、上下靴の区別は、各校で責任をもって行うこと。
- (5) 体育館の開場は、21日・22日ともに7時50分。
- (6) ベンチコーチは、団体戦、個人戦共に1名のみとし、途中交代は認めない。ただし、同一のアドバイザーであれば何度でも出入り可能。
ベンチコーチは、当該高校部員(男女を問わない)＋監督(学校対抗)＋アドバイザー2名(男女別に)を認める。(学校対抗監督は役職者章着用、アドバイザーは許可証着用)
- (7) 本大会の入館は、監督、引率教職員、登録済み外部アドバイザー(県体用)、エントリー選手、卓球部員(高校生に限る)、高校3年生の保護者(各家庭1名)とする。生徒以外には入場許可証を渡すので、首から必ず掲げるようにすること。学校対抗の監督については、2022年度の役職者章を入場許可証の代わりとする。
- (8) コートサイドでのビデオ撮影は、本人及びチームの試合のみ認める。
観客席からの撮影は制約しない。
- (9) 上位大会への参加について
①四国大会 団体4、ダブルス8、シングルス16
②インターハイ 団体1、ダブルス2、シングルス4
※エントリー順位について
県体の成績を優先する。同ポイントの場合は、前年度冬季大会並びに当年度春季大会のポイント(どちらか)の高い方を上位とする。これも同点の場合は抽選とする。
- (10) ラケット検査について
適宜ランダムに行う。
- (11) シングルスベスト4の選手は、国体1次予選(6/11結いの丘ドーム)を免除され2次予選へ出場できる。尚、1次予選を免除された選手は、2次予選に出場することを願い出ること。国体2次予選(6/12結いの丘ドーム)は、県体ベスト4＋1次予選ベスト4(＋ふるさと選手)の計8(9)名でリーグ戦を行う。※女子の明德青井選手については、高知県卓球協会国民体育大会県選考会決定基準に該当し、先日開催されました理事会において選考会免除が決定され、代表が決定しております。
- (12) ステージ前に選手のアップ場および次の試合の待機場所を設けています。組合せやコールを参考に適宜活用し、進行に協力して下さい。ただし、応援やアドバイスは禁止とする。
- (13) 表彰
団体、ダブルス、シングルの1位～3位を表彰する。
団体優勝校から男女各1名に殊勲賞を与える。
団体準優勝校から男女各1名に敢闘賞を与える。
団体優勝校、準優勝校以外から、団体または個人戦において活躍した選手に優秀選手賞を男女各2名に与える。
- (14) **新型コロナウイルス感染症対策について**
本大会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた運営をします。大会前、大会後の健康観察をしっかりと行うこと。なお、大会参加前に高知県高等学校卓球大会ホームページへアップされている「高知県高等学校体育連盟主催大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針【第4版】」および「高体連卓球専門部新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」を熟読して参加すること。
※高知県のコロナ感染症警戒レベルが大会前日に「特別警戒」に上がった場合は「無観客試合」とする。その場合の入館は、監督、引率教職員、登録済み外部アドバイザー(県体用)、エントリー選手のみとする。また、大会前にコロナ陽性者や濃厚接触者に該当してしまう選手、該当校については、保健所等の指示、ガイドラインに示されている内容に従って、大会への参加を決定すること。
- (15) 香川県高体連卓球専門部より、西日本高校オープン新人研修会の要項が届いております。参加資格は本大会のベスト8以上の戦績となっておりますので、大会終了後興味のある学校につきましては、本部(専門委員長：濱田)まで取りにきてください。